

エコプロダクツ 2015 に出展

12月10日（木）～12日（土）の3日間、東京ビッグサイトにおいて、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2015」が開催されました。本展示会は、環境問題の解決に貢献することを目的に、産官学民の知恵が集まり、最高の環境性能をもつ製品や環境負荷低減に励む先進企業の取り組みなどを一堂に紹介するもので、毎年多くの方々が来場されます。

原子力機構では、高温ガス炉水素・熱利用研究センターから「環境とエネルギーの未来を拓く“水素社会”」をテーマとした企画展示に出展しました。ブースでは、高温ガス炉と水素製造技術のパネル紹介を行うとともに、高温ガス炉水素タウンのジオラマ展示を行い、校外学習で訪れた学生や一般来場者など3日間を通して、約1,000名の来場がありました。

高温ガス炉水素タウンのジオラマは、高温ガス炉の実用化像をイメージできるように、将来の実用高温ガス炉から大洗町の商業施設等に水素が供給される街並みを表現しており、幅広い世代の方々が来るべき水素社会に強い関心を示していました。

今後も研究開発成果が身近に感じていただけるよう、このような場を通して情報発信してまいります。



▲ 原子力機構ブースの様子



▲ 熱心に話を聞く高校生



▲ 水素タウンのジオラマ